

令和 2 年度 西が岡小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の教育を基盤に自ら学び，自ら考え，主体的に判断して生きていくことのできる，心身ともに健康で，心豊かな，たくましい児童を育成する。

<目指す児童像>

- (1) 明るく元気な子ども（体力・気力） (2) よく考えて学習する子ども（創造力）
(3) 心豊かで思いやりのある子ども（責任・思いやり）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

教育目標の達成を目指し，子どもの自主性を育て，希望に満ちた明るく，楽しい学校づくりをするために，全職員が和と協力，熱意，そして人間尊重の精神を基盤に『生きる力』を育む教育に取組み，新しい時代の教育に向けた持続可能な活力に満ちた特色ある学校経営を推進する。

<目指す学校像>

- (1) 楽しく充実し居がい感のある学校 (2) 子どもと教師が共に育つ学校
(3) 地域とともにある笑顔あふれる学校

<合言葉> 元気いっぱい 夢いっぱい 笑顔あふれる 西が岡

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 一人一人のもつよさや特性を認め，自信と意欲を育む居がいのある学校・学級づくり，自主性を育てる教育活動の展開に努める。 (学級経営の充実)
- (2) 学ぶことの意義を明確にするとともに新学習指導要領の趣旨を具現化した授業実践を図り，学ぶことの楽しさや成就感を体感させ，自ら学ぶ態度の育成と基礎・基本の確実な定着に努める。 (学習指導の充実)
- (3) 情操豊かな教育環境と道德教育の充実を図り，「生命や人権を大切に作る心」「思いやりの心」を育み，心豊かでたくましい子どもの育成に努める。 (心の教育の推進)
- (4) 全教職員の共通理解のもと，児童理解及び保護者との情報共有に努めることで，児童・保護者との信頼関係を深め，規範意識の醸成と基本的生活習慣の確立に努める。 (児童指導の充実)
- (5) 進んで運動に親しむ体育指導と，健やかな体を育む食育・保健指導の充実を図り，健康・体力の向上に努める。 (体力の向上と保健安全教育・食育の充実)
- (6) 学校園として認め励ます指導を通して自尊感情を育み，学習や活動の交流を図り，小中一貫教育を推進する。 (小中一貫教育の推進)
- (7) 多様性と人権を尊重し，特別支援教育の視点を大切にした教育環境の醸成に努める。 (特別支援教育の推進)
- (8) 常に自己の資質向上に努めるとともに，コンプライアンス及びアカウンタビリティを意識し，子どもや保護者から信頼される教職員集団を目指す。 (教職員の資質の向上)
- (9) 家庭や地域との連携と情報発信の充実に努め，地域とともにある学校づくりの推進に努める。 (地域とともにある学校づくり)
- (10) 教育の重点化，ICTの活用，協働体制の確立，報・連・相体制の徹底，保護者や地域の教育資源の有効活用，出退勤時刻の管理等により教育の効率化を図り，教職員の働き方改革を推進する。 (教職員の働き方改革の推進)

【宝木地域学校園教育ビジョン】 「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成を目ざして

- 豊かな心の育成 ・規範意識と自尊感情の育成
・生命を尊重し相手を思いやる態度の育成
・自然，文化，芸術に親しむ感性の育成

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法，教育基本法，学校教育法，同施行規則，新小学校学習指導要領等の法令並びに栃木県教育委員会の方針「とちぎ教育振興ビジョン」，宇都宮市教育委員会の学校教育の重点「第2次宇都宮市学校教育推進計画」「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」の示すところに従い公教育の立場を堅持し，本校の教育目標達成

のため、調和と統一ある教育課程を編成する。

- (2) 児童の実態や学校の特色や地域のもつ豊かな教育力を生かして、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで「生きる力」を身に付けた児童の育成を目指した教育課程の編成に努める。
- (3) 本年度の学校教育目標、学校経営方針、努力点や具体策、学校課題の具現化を図るとともに、学校教育の活性化を図る特色ある教育課程の編成をする。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

1 学校運営

落ち着いた学校生活のもと、縦割り班活動を中心とした体験活動や道德教育、読書活動などを通して豊かな心と自主性を育み、特別支援教育の視点を取り入れた分かる授業の充実を図り、学ぶことの楽しさを実感する教育の推進に努める。

新学習指導要領の趣旨を受け止め、明確なビジョンをもった教育課程の編成・実施による教育活動を推進し、新しい時代へ向けた持続可能な教育体制を目指すとともに、働き方改革を積極的に推進する。

2 学習指導

児童の実態や特性を踏まえ、新学習指導要領の趣旨を具現化した分かる授業を展開し、学習意欲の向上に努めるとともに、家庭学習の習慣化を図り基礎学習の定着に努める。

3 児童生徒指導

道德教育や学級経営の充実を図り、具体的な活動を通して「明るいあいさつ」「正しい言葉遣い」「決まりを守る態度」の育成に努める。

4 健康（保健安全・食育）・体力

体育、保健、食育指導の連携をもとに、自己の生活習慣（保健安全・食習慣・体力）を意識できる児童の育成に努める。

5 教育の効率化

教育の重点化、ICTの活用、協働体制の確立、教職員の勤務時間の管理により教育の効率化を図り、働き方改革を進める。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童85%以上	① がんばりカードや音読カードを活用し、自分の学習を振り返ることができるようにする。 ② 「聞き方・話し方・姿勢」を掲示し、意識付けを図る。 ③ 「家庭学習のすすめ」を自主学習ノートに貼り、それを見ながらどんな内容にするかを自分で決めて、進んで学習できるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」の肯定的回答 ⇒教職員85%以上	① 体験活動と関連を図った道德や総合的な学習の時間の授業を実施し、生命や人権を尊重する心や思いやる心などを涵養する。 ② 豊かな感性の育成を目指した読書活動を推進する。 ・ボランティアによる読み聞かせ ・読書週間の活用 ③ 異学年の交流活動を上級生がリーダーになって主体的に行い、思いやりの心		【達成状況】 【次年度の方針】

	を育てる。 ④ 「命の授業」や「人権の授業」を授業参観等で公開したり、親子学習で取り上げたりして、保護者への啓発を行う。 ⑤ 小中連携した「宮っ子心の教育」を推進する。		
A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って、生活している。」の肯定的回答 ⇒児童80%以上	① 全職員の共通理解のもと、朝会・全校集会で全校児童に話をしたり、発達段階に応じて各学級で指導したりして、基本的生活習慣の定着を図る。 ・休み時間の過ごし方 ・授業の始まりの準備 ② 「よい子の一日」の周知徹底を図る。 ・廊下の歩行（教室移動時・休み時間） ・終業のあいさつと次時の準備 ・遊び方の共通理解 ・清掃中、清掃後の指導の徹底 ③ 生活目標を活用し、スモールステップで目標を達成できるようにする。 ・良かった点を朝会で称賛する。 ・児童指導主任や代表委員児童が放送等で呼びかける。	【達成状況】 【次年度の方針】	
A4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」の肯定的回答 ⇒児童85%以上	① 代表委員を中心とした、あいさつ強化週間や中学校との合同あいさつ運動を活性化し、より多くの児童が積極的に運動に参加できるようにする。 ・低・中学年の自主的な参加を推進 ② 本校のあいさつ運動を学校便りや懇談会で保護者や地域の方々に周知する。 ・家庭での習慣化 ③ 地域に向けたあいさつについて、学年に応じて、学級単位で指導を継続する。	【達成状況】 【次年度の方針】	
A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童80%以上	① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。 ② 様々な授業において、児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに、目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。 ③ 道徳の授業において、目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに、そうした実践に向けた意欲を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】	
A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」における肯定的回答 ⇒教職員85%以上	① 休み時間の遊び方や廊下の歩行、登下校時の歩行について、自分で考えて安全に行動できるよう日常的な安全指導に努める。 ② 生活チェックシートを活用して、担任や養護教諭、栄養士等による個別指導を充実する。 ③ 「おべんとうの日」には、栄養のバランスを配慮した献立が立てられるように、発達段階に応じて、ワークシート等を活用して支援する。	【達成状況】 【次年度の方針】	

A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童80%以上	① 宮・未来キャリア教育に関わる活動を生活科、総合的な学習の時間等の年計へ位置づけし、系統的に学習する。 ② 地域人材やボランティアを活用し、仕事や職業観についての話を聞く機会や体験的活動を設定して、学習や生活と職業とを関連付ける。 ・2分の1成人式（4年） ・夢いっぱい教室（6年） ・町探検（2年）	【達成状況】 【次年度の方針】
A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。」における肯定的回答 ⇒教職員80%以上	① 低学年から、学級担任やALTによる指導を系統的に行い、コミュニケーション能力の育成を図る。 ② 職員研修で英語の教材開発やICTを活用した指導法の工夫や改善などを行い、授業力の向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」における肯定的回答 ⇒児童80%以上	① 生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業や、市内や地域での校外学習等において、学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。 ② 教師自身が宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深められるよう努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」における肯定的回答 ⇒児童85%以上	① 児童が授業においてICT機器や図書資料を活用して、情報を収集・整理・発信する活動を充実させ、それらを活用する能力の育成を図る。 ② 図書館の環境整備に努め、授業に関連する図書資料を計画的に準備し、国語の教材や総合的な学習の時間の調べ学習等に役立てる。 ③ 読書の時間や読み聞かせの時間、図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても思いやりの心をもっている。」における肯定的回答 ⇒児童85%以上 ⇒教職員85%以上	① 体験活動と関連を図った総合的な学習の時間や道徳科の授業を実施し、高齢者に対する感謝やいたわりの心を涵養する。 ② 運動会に高齢者（宝木荘を含む）を招待し、来校された方に感謝の言葉を贈ったり、交流種目を設けたりする。 ③ 宝木荘の高齢者との交流活動を年計に位置付け、計画的に実践する。 ・宝木荘訪問（1，4年）	【達成状況】 【次年度の方針】
A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】	① 各教科・総合的な学習の時間等の環境教育を通して、環境問題への関心を高め、環境と調和しながら生きる意識や態度を育成する。 ② 過去の災害の具体事例から学ぶ機会	【達成状況】 【次年度の方針】

	全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	を設け、防災教育を充実する。		
	B1 児童は、授業で習ったことを復習するなど、自主学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業で習ったことを復習するなど、自主的な学習に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒児童 80%以上	① 西が岡小「家庭学習のすすめ」を活用し、学年に応じた家庭学習の習慣化を図る。 ・音読と個に応じた宿題の徹底 ・発達段階や個に応じた自主学習の進め方の指導 ・家庭学習の時間・やり方・内容の提示 ・学級懇談等での保護者への啓発 ② 自主学習の例を掲示して、よい取組を児童や保護者に知らせていく。 ・昇降口前の掲示（学習チャレンジ週間） ・終わったノートの教室内掲示 ・リレー自主学習（全学年）		【達成状況】 【次年度の方針】
目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	① 校内支援会議を計画的、または必要に応じて開き、個に応じた具体的な支援について協議し、共有して組織的な体制で対応する。 ② かがやきルーム支援員と、日常的に情報交換を行い、児童の状況把握をして、学級での指導に生かしていく。 ③ SCや他の外部機関と連携し合って、個に応じたよりよい支援の在り方について考え、指導に生かしていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」における肯定的回答 ⇒児童 90%以上	① 教育相談を年間2回実施し、児童の実態の把握と早期発見に努める。 ② 人権週間、いじめゼロ月間、いじめゼロ集会を実施するとともに、保護者にも公開し啓発に努める。 ③ いじめ防止に関する資料や学校での取組を、懇談会や学校便り、HPなどで地域や保護者に積極的に発信する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」における肯定的回答 ⇒児童 90%以上	① 児童の自己肯定感や安心感が高められるよう教師の言葉がけや雰囲気作りに努める。 ・ソーシャルスキル ・エンカウンター 等 ② 職員会議後に不登校対策やいじめ対策を兼ねて、児童指導について情報交換会を実施し、全職員が情報を共有する。 ③ 家庭訪問を通じた積極的な支援と働きかけを行う。		【達成状況】 【次年度の方針】

A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」における肯定的回答 ⇒教職員85%以上	① 外国人児童について教職員で共通理解を図り、必要な支援を組織的に行う。 ② 児童が、互いの国籍や文化の違い等認め合い尊重しながら生活できるよう、日常的な指導に努める。 ③ 外国人児童の実態や家庭環境に応じた日本語指導教師の活用を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。」における肯定的回答 ⇒児童90%以上	① 学校行事や児童会活動に児童が主体的に取り組む場を設定し、適切な指導・支援・助言をすることにより、児童の達成感・自己肯定感を高める。 ② ペア学習やグループ学習などの多様な学習形態を取り入れたり、体験的活動の場を設定したりして、児童の意欲を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」における肯定的回答 ⇒児童90%以上	① 全職員共通理解のもと今年度の学校課題の研究を進める。 ② 授業研究を行い、指導方法の工夫・改善や指導力の向上を図り、きめ細かな指導を実施する。 ・一人一授業公開 ・授業改善チェックリストの活用 ・ヒントカードや教材提示の工夫 ③ 具体的な学習の取組の状況や研究の様子、要請訪問などについて、学びの広場で取り上げ、学校での研究の様子を保護者に知ってもらう機会にする。 ・学習チャレンジウィークの実施 ・学びの広場の発信 ・西が岡小「家庭学習のすすめ」の配付 ④ ノートやワークテスト、プリントなどに励ましやアドバイス・コメントなどを入れ一人一人の意欲を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒教職員80%以上	① 学校の諸課題への対応や、学校行事の準備・運営等に、教職員が相互に助け合いながら一丸となって取り組むよう努めるとともに、困難を感じる業務について気軽に相談し、助け合える雰囲気を大切にしよう。 ② 全職員が職員会議や学年会での児童の情報交換を密にし、共通理解を図る。 ③ 朝の学習や給食指導の際には、担任以外も学級支援に関わる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】	① 職員研修等において働き方改革の意識付けと具体的な取組の共通理解を図り、教職員一人一人が、業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。 ② ポータルサイトや学習情報システム等を活用して、業務を効率的に遂行でき	【達成状況】 【次年度の方針】

全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上	るようにする。 ③ 職員会議等の協議事項を精査して時間の短縮を図ったり、学校行事等の見直しを行ったりして、学校運営の改善を行う。	
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」における肯定的回答 ⇒保護者 80%以上	① 乗り入れ授業、教科分科会、6年生の進学先中学校訪問等を、目的を明確にして効果的に実施する。 ② 行事や児童会活動・集会活動等での交流を実施していく。 ・あいさつ運動 ・音楽朝会での発表 ③ 「地域学校園の日」を活用して研修や情報交換を行い、地域学校園全体での共通課題の達成を目指す。 ・宝木学校園「生活のきまり」 ・自主学习推進 ・学習のきまり	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	① P T Aや地域協議会等を活用し、各教科・領域で更に充実した体験活動を推進する。 ・ふるさと教室（昔遊び・昔の暮らし） ・読み語り（陽だまりの会・下野民話の会等） ・学習会 ・農業体験（田植え、稲刈り） ・町探検ボランティア ・ミシンボランティア 等 ② P T A 学年委員や地域コーディネーターと連携して、活動内容の充実を図る。 ③ 「にじいろの会」を活用し、図書館の環境整備や本の修繕を通して、図書館経営の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」における肯定的回答 ⇒保護者 90%以上	① 全学年で行政や企業と連携した出前授業を実施し、保護者にも積極的に参観を呼びかけていく。 ・環境教育（富士重工業） ・モノづくり教室（日産） ・上下水道局 ・薬物乱用防止 ・人権教室 ・リコーダー教室 ・歯磨き教室 等 ② 「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携して、学校運営の充実を図る。 ・体験活動（昔遊び・昔の暮らし） ・安全ボランティア ・放課後子ども教室 ③ 外部団体と連携した授業の様子は、学校便り、HP等で積極的に分かり易く家庭・地域へ情報を発信していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全	① 毎月、校舎内外の施設、設備等の安全点検を実施し、危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。 ② 危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。	【達成状況】 【次年度の方針】

	に配慮した環境づくりに努めている。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	③ 熱中症予防対策, インフルエンザ予防対策など, 時期に応じた保健指導管理に努める。		
	A25 学校は, 学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は, I C T 機器や図書等を学習に活用している。」における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	① 児童が I C T 機器や図書資料を活用して, 情報を収集・整理・発信する能力を育成するため, I C T 機器等の積極的な活用を図る。 ② 授業に関連する図書資料を計画的に準備など, 図書館の環境整備に努める。 ③ 読書の時間や読み聞かせの時間, 図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 教職員は, 体力チェックや生活アンケートを実施し, 健康・体力面での個別指導をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「体力チェック等を実施し, 個に応じて適切に指導している。」における肯定的回答 ⇒教職員 90%以上	① 体力チェックや生活アンケートを実施し, 個別指導に生かす。 ・外遊びの奨励と日常的な運動による体力づくり ・朝の 1 分間運動の実施 ・歯磨き指導 ・姿勢の改善と視力向上に関する意識づけ ② 給食・保健委員会を活用し, 健康に関する児童の意識を高めていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B3 縦割り班活動を積極的に行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「縦割り班活動を積極的に行っている。」の肯定的回答 ⇒教職員 90%以上	① 異学年の交流活動を上級生がリーダーになって主体的に行い, 思いやりの心を育てる。 ・たて割り班による花はなタイム ・新体力テスト ・遊友タイム ・読み聞かせ ・お弁当の日 ・清掃活動 等 ② 班対抗のゲームや活動を取り入れて, 継続的に高学年がリーダーとなる場づくりを推奨する。 ・遊友タイム ・運動会 ・企画委員会との連携		【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。